

令和7年度生息状況調査結果 (イノシシ：県北部区域)

1. 目的

令和7年度に実施した指定管理鳥獣捕獲等事業（以下「指定管理事業」という。）の事業評価、及び令和8年度の指定管理事業実施計画を検討するための基礎情報とすることを目的として、イノシシの痕跡密度調査（以下「痕跡調査」という。）及び自動撮影カメラ調査（以下「カメラ調査」という。）を実施した。

2. 調査対象区域

痕跡調査ルート及びカメラ調査地点の分布を図1に示す。

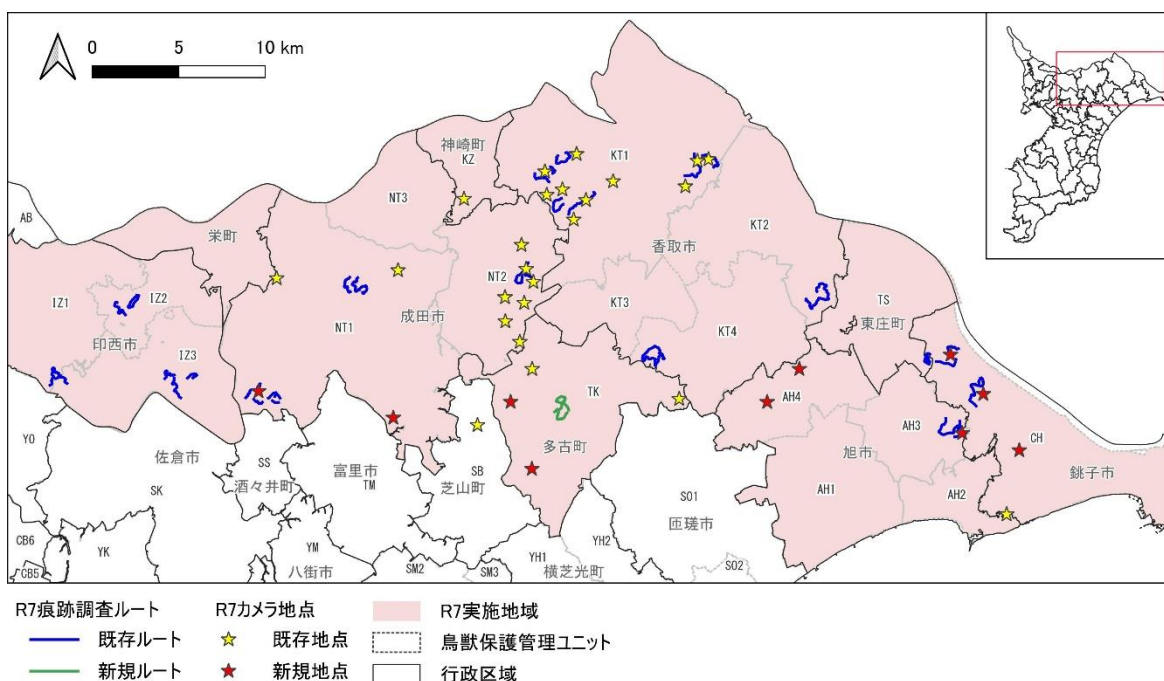


図1 痕跡調査ルート及びカメラ調査地点の分布（県北部区域）

3. 調査期間及び調査方法

(1) 痕跡調査

1) 調査期間

地区4（県北部区域）：令和7年11月24日～29日

2) 調査方法

県北部区域では、令和6年度に調査を実施した3～5km程度の14ルート、及び新規で設定した1ルートの計15ルートを対象に痕跡調査を実施した。痕跡調査では、調査ルートの

左右1mずつ（計2m）を調査範囲とし、その中で確認された痕跡を種類ごと（「食痕」「食痕以外の掘り返り」「糞」「こすり痕」「ヌタ場」「イノシシの獣道（泥付き）」「成獣及び幼獣別の足跡」）に記録した。なお、各ルートは、森林・水田・畑など出来る限り多様な環境が含まれるように設置した。以上の内容を100m区間単位で記録した。

表1 痕跡調査ルートの概要（県北部区域）

ルート	市町	ユニット	距離 (km)	備考
BN1	香取市	KT1	4.0	
BN2	香取市	KT1	4.0	
BN6	成田市	NT2	3.4	
BN8	成田市	NT1	4.2	
BN13	香取市	KT1	4.5	
BN14	成田市	NT1	4.0	
BN15	印西市	IZ1・IZ3	4.9	
BN16	印西市	IZ2	4.0	
BN17	印西市	IZ3	4.3	
BN18	銚子市・東庄町	CH・TS	3.4	
BN19	旭氏	AH3	3.9	
BN20	銚子市	CH	3.6	
BN21	香取市	KT2	4.2	
BN22	香取市	KT4	4.7	
BN23	多古町	TK	4.1	R7 新規設定

（2）カメラ調査

1）調査期間

地区4（県北部区域）：カメラ調査：令和7年1月～11月

2）調査方法

カメラの設置にあたっては、獣道等イノシシが撮影されやすい場所を選定し、立木に獣道が撮影されるように画角を調整して設置した。

回収したデータは、①地点別・月別のイノシシの撮影枚数、②イノシシの成獣メスの地点別・月別撮影枚数で集計した。なお、成獣メス等の判断基準について、以下のとおり。

- ・成獣メス：幼獣または体サイズの小さな個体とともに写っている大きな個体。または発達した乳房が確認された個体。
- ・幼 獣：縞模様がある個体。または成獣メスとともに写っている体サイズの小さな個体。

また、集計した撮影枚数とカメラ稼働日数から、各カメラ地点についての撮影頻度（1日あたりの撮影枚数）を算出した。そして、各カメラ地点の撮影頻度についてユニットごとの平均値を算出した。

4. 結果

(1) 痕跡調査

1) 令和7年度調査結果

令和7年度調査の取りまとめ結果については、調査者間のばらつきを減らすため、各ルートを100m毎の区間に分け、痕跡率（痕跡が確認された区間数／総区間数（％））を算出した。県北部におけるイノシシ痕跡調査結果を表2～表3、及び図2～図3に示す。

- 県北部では、印西市に平均痕跡率が高いユニットが集中している（IZ1、IZ2）ほか、多古町（TK）においても平均痕跡率が高かった。多古町（TK）は、令和7年度に新規で設定した調査ルートの結果であるため、今後の痕跡率の推移を注視していく必要がある。
- 銚子市（CH）、東庄町（TS）、及び成田市東側（NT2）では、イノシシの痕跡は確認されなかった。

表2 調査ルートごとのイノシシ痕跡数、痕跡密度、痕跡率（県北部区域）

調査ルート	市町/大字	ユニット	総距離(km)	片側1m以内の痕跡数								痕跡合計	痕跡密度(個/km)	痕跡確認区間数	痕跡率(%)
				掘返し	食痕	糞	こすり跡	ヌタ場	泥付き獣道	足跡(成獣)	足跡(幼獣)				
BN01	香取市	KT1	4	18	1	0	0	0	4	12	3	38	9.5	17	43.6
BN02	香取市	KT1	4	9	0	0	0	0	13	11	4	37	9.3	18	45.0
BN06	成田市	NT2	3.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
BN08	成田市	NT1	4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
BN13	香取市	KT1	4.5	5	0	0	1	2	9	5	0	22	4.9	11	25.6
BN14	成田市	NT1	4	19	0	0	2	0	13	1	0	35	8.8	10	25.0
BN15	印西市	IZ1・IZ3	4.9	24	0	1	2	0	19	0	0	46	9.4	19	65.5
BN16	印西市	IZ2	4	116	2	0	1	1	19	16	15	170	42.5	35	89.7
BN17	印西市	IZ3	4.3	69	0	0	1	1	0	0	0	71	16.5	16	39.0
BN18	銚子市・東庄町	CH・TS	3.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
BN19	旭市	AH3	3.9	7	0	0	0	0	0	0	0	7	1.8	4	10.3
BN20	銚子市	CH	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
BN21	香取市	KT2	4.2	4	0	0	0	0	1	5	0	10	2.4	6	14.0
BN22	香取市	KT4	4.7	31	0	0	0	0	0	0	0	31	6.6	10	21.3
BN23	多古町	TK	4.1	162	0	0	1	3	42	27	3	238	58.0	34	85.0

表3 ユニット別の平均痕跡率（県北部区域）

市町	ユニット	平均痕跡率(%)
旭市	AH3	10.3
銚子市	CH	0.0
印西市	IZ1	85.0
	IZ2	89.7
	IZ3	36.0
香取市	KT1	37.7
	KT2	14.0
	KT4	21.3
成田市	NT1	12.3
	NT2	0.0
多古町	TK	85.0
東庄町	TS	0.0

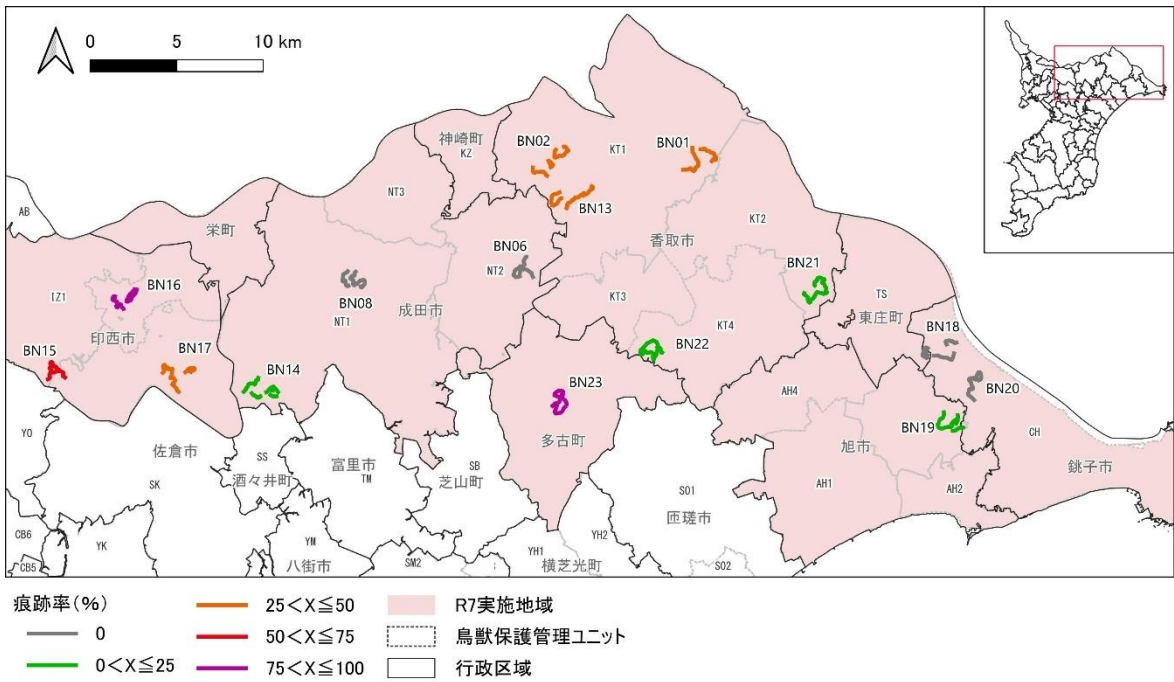


図 2 イノシシ痕跡率 (%) (県北部区域)

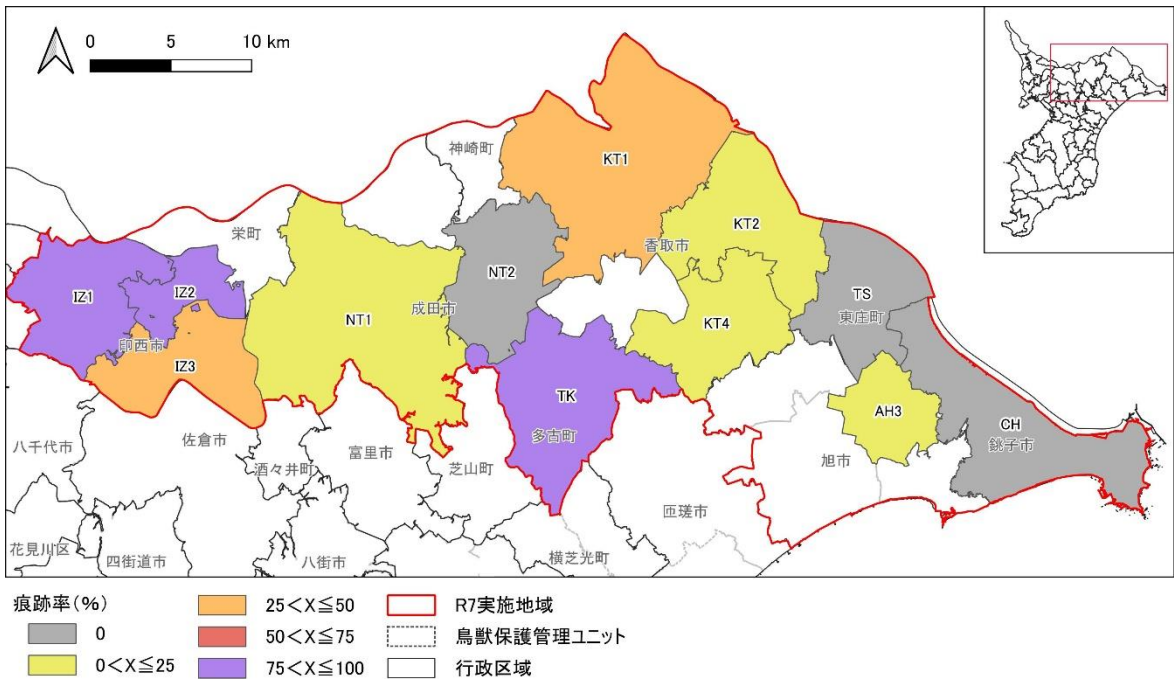


図 3 ユニットごとのイノシシ平均痕跡率 (%) (県北部区域)

2) 経年変化

平成 27 年以降の県北部区域におけるユニットごとのイノシシ痕跡調査結果を表 4 に示す。なお、痕跡の集計方法が各調査員の判断によって変化する可能性があり、糞塊密度と比較すると定量性の確保に課題があることから、特に年度間の結果について単純な比較はできない点に注意が必要である。

- 調査時期を 11 月に統一した平成 29 年以降、いずれのユニットにおいても痕跡密度は増減を繰り返しながら推移しており、明確な傾向は見られなかった。
- 多古町 (TK) では、痕跡調査地点を変更したことが影響したと考えられるが、令和 7 年度は高い値を示した。

表 4 平成 27 年度以降における痕跡密度 (個/km) (県北部区域)

市町村	ユニット	痕跡密度(個/km)										痕跡密度 (個/km) R03
		H27	H28	H29	H30	H31	R02	R04	R05	R06	R07	
旭市	AH3	-	-	-	-	-	1.1	4.5	0	2	1.7949	6.96
銚子市	CH	-	-	-	-	-	1.19	4.32	0	0.12	0	0.83
印西市	IZ1	-	-	-	-	-	51.44	36.37	16.33	43.23	21	219.75
印西市	IZ2	-	-	-	-	-	42.64	65.81	81.5	35.25	43.59	183.59
印西市	IZ3	-	-	-	-	-	50.28	44.25	14.91	40.93	15	286.15
香取市	KT1	1.71	4.55	9.43	7.51	23.86	8.9	19.25	11.56	7.6	7.9508	24.82
香取市	KT2	-	-	-	-	-	-	1.48	0.48	8.1	2.3256	-
香取市	KT4	-	-	-	-	-	-	-	0.43	0.43	6.5957	-
成田市	NT1	0.24	0	0	2.98	11.33	0	13.55	4.37	10.75	4.321	34.34
成田市	NT2	0.26	0.74	0.26	2.3	7.26	1.15	4.33	0.54	1.39	0	5.49
芝山町	SB	0.23	0.92	0.23	3.47	12	2.3	1.77	0.5	1.63	-	4.82
多古町※4	TK	0.23	0.92	0.23	3.47	12	2.3	1.77	0.5	1.63	59.5	4.82
東庄町	TS	-	-	-	-	-	1.33	8.29	0	0.24	0	1.66

密度低  密度高

※1 表の「-」は該当年度に痕跡密度調査を実施していないことを示す。

※2 平成 27 及び 28 年度は夏季 (6 月~7 月)、平成 29 年度以降は 11 月に調査を実施しているため、比較は参考程度とする。

※3 令和 3 年度は調査方法が異なるため、比較は参考程度とする。

※4 多古町のユニット (TK) では、R07 に調査ルートが変更されている点に留意。

(2) 自動撮影カメラ調査

1) 令和7年度調査結果

各カメラ地点におけるイノシシ全体の撮影頻度と成獣メスの撮影頻度を図4及び図5に、各ユニットの調査地点のイノシシ全体及び成獣メスの全期間の撮影頻度の平均を図6及び図7に示す。

- 県北部区域では、香取市北西部（KT1）のイノシシ全体の撮影頻度が最も高く、また成獣メスにも同様に撮影頻度が高かった。
- 次いで、多古町（TK）及び旭市東側（AH2）におけるイノシシ全体の撮影頻度が高かった。なお、多古町（TK）では成獣メスも確認されたが、旭市東側（AH2）では、成獣メスは確認されなかった。

(参考)

これまで多古町（TK）と旭市東側（AH2）の間のユニット（AH3、AH4）、及び銚子市（CH）がカメラの空白地帯となっていたが、令和7年7月から設置を開始した。これらのカメラの撮影結果は、撮影期間が6ヶ月に満たないため、本報告の比較対象から除外しているが、令和7年に銚子市（CH）及び隣接する旭市のユニット（AH3）においてもイノシシが撮影されている。ただし、これらの新設地点で、成獣メスは撮影されなかった（表5）。

表5 令和7年のイノシシの撮影頻度（AH、AH4、CH）

市	ユニット	イノシシ 撮影頻度 (枚/日)	成獣メス 撮影頻度 (枚/日)
旭市	AH3	0.69	0
旭市	AH4	0	0
銚子市	CH	0.07	0

※令和7年7月～12月の平均撮影頻度を算出

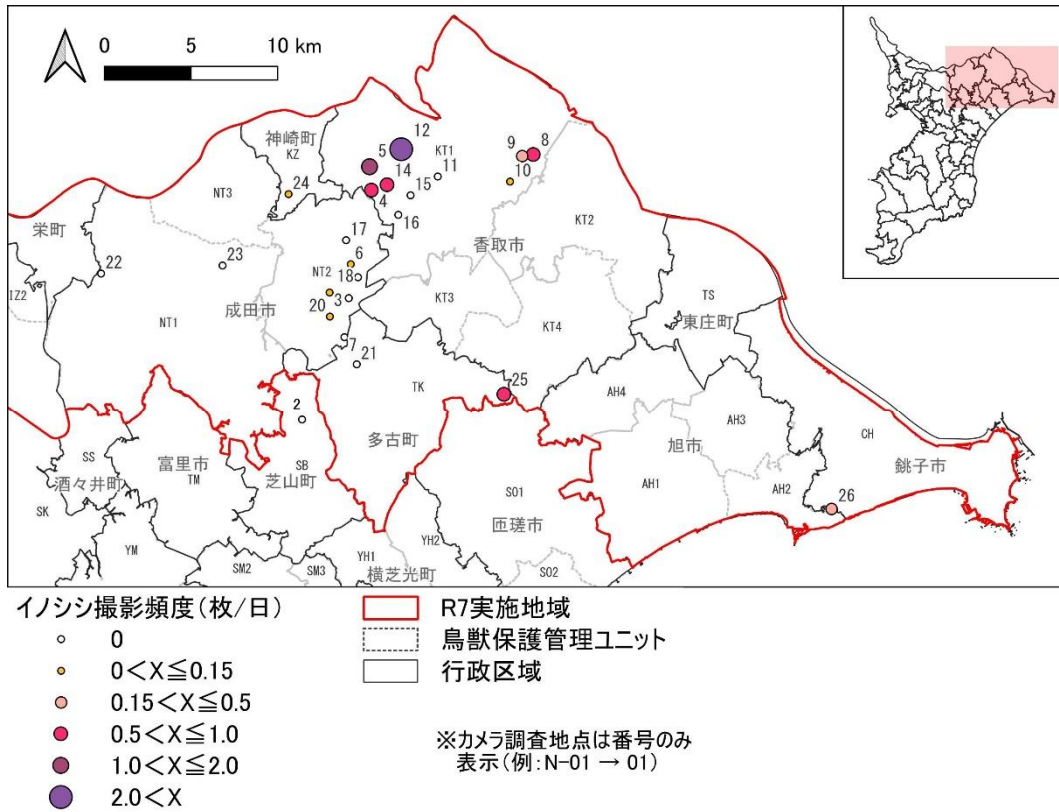


図 4 イノシシの撮影頻度 (令和 7 年 1 月～令和 7 年 11 月)

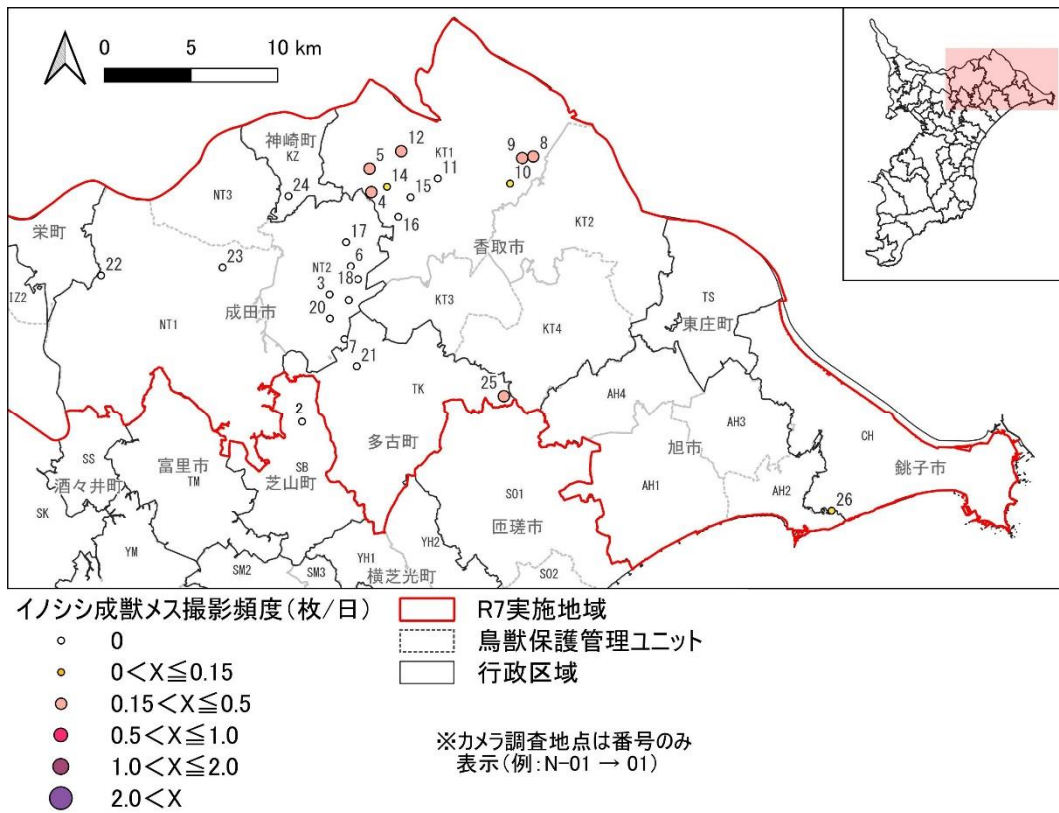


図 5 イノシシ成獣メスの撮影頻度 (令和 7 年 1 月～令和 7 年 11 月)

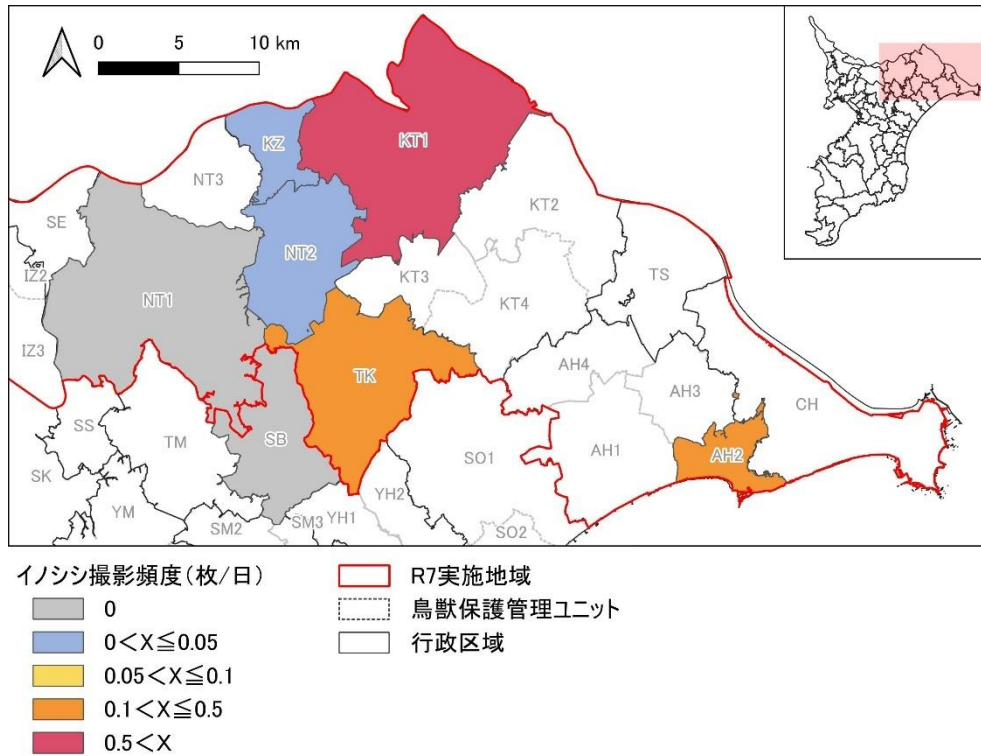


図 6 ユニットごとのイノシシの撮影頻度（令和7年1月～令和7年11月）

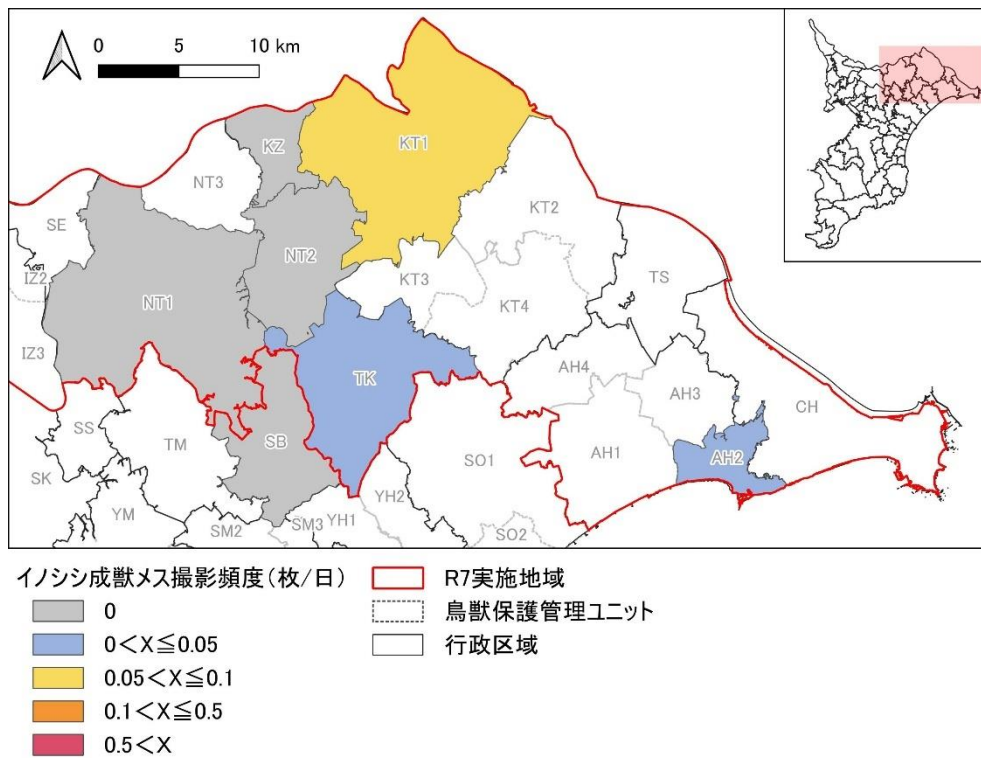


図 7 ユニットごとのイノシシ成獣メスの撮影頻度（令和7年1月～令和7年11月）

2) 経年変化

平成 29 年から令和 7 年の県北部区域におけるユニットごとのイノシシ全体の撮影頻度を、図 6 に示す。なお、本区域におけるカメラは平成 28 年から設置されているが、当該年はカメラの設置期間が 6 か月以下であるため、比較対象から除外している。また、ユニットごと、年度ごとにカメラ設置数が異なり、調査開始時期が異なるものが含まれるため、単純な比較はできない点に注意が必要である。

- 香取市 (KT1) では、平成 29 年から令和 6 年にかけて増減を繰り返しながら推移していたが、令和 7 年に撮影頻度が増加した。
- 神崎町 (KZ) は令和 5 年以降、多古町 (TK) は令和 3 年以降イノシシの撮影頻度はゼロで推移していたが、令和 7 年に再び撮影された。
- 成田市 (NT1) は令和 5 年以降、芝山町 (SB) は平成 30 年以降、イノシシは撮影されておらず、令和 7 年度においても撮影されなかった。

表 6 平成 29 年度から令和 7 年度におけるユニットごとの撮影頻度 (県北部区域)

市町村	ユニット	撮影頻度 (枚/日)								
		H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07
旭市	AH2	-	-	-	-	-	-	-	-	0.228
香取市	KT1	0.078	0.113	0.123	0.205	0.088	0.099	0.422	0.224	0.600
神崎町	KZ	-	-	-	-	-	-	0	0	0.009
成田市	NT1	-	-	-	-	-	-	0	0	0
成田市	NT2	0.016	0.007	0.005	0.009	0.011	0.034	0.009	0.034	0.024
芝山町	SB	0.004	0	0	0	0	-	0	0	0
多古町	TK		0.026	-	-	0	-	0	0	0.260

撮影頻度低  撮影頻度高

※「-」調査されていない、もしくはカメラ設置期間が 6 ヶ月以下のものは比較対象外とし、データなし。

※データは、1 月～11 月で集計

(3) 統合密度指標

痕跡調査の結果とカメラ調査の結果は、調査手法、調査期間、調査区域などの違いなどから調査結果の傾向が異なる場合があり、2つの指標からイノシシの生息状況の傾向を判断することが困難なことがある。そのため、本事業では痕跡密度と撮影頻度の結果を基に統合密度指標（相対密度指標）を算出し、1つの指標で示すことでイノシシの密度傾向を評価した。統合密度指標はユニットごとの密度指標値を平均0、標準偏差1になるように標準化し、各年度、ユニットで平均値を取ることで統合密度指標を算出した。統合密度指標を表7に示す。

統合密度指標の値（密度）を低下させることを目標とし、イノシシは個体数の年変動が大きいいため3年間の傾向から評価した。

- 印西市の密度指標は、同一市内のユニット間でも増減のタイミングが異なるが、同市の西側（IZ2）を中心に依然として高い値を示している。
- 多古町（TK）では、痕跡調査地点を変更したことが影響したと考えられるが、令和7年に密度指標が増加に転じ、高い値を示した。
- そのほかの地域は、概ね横ばい～微増傾向で推移しており、地域全体としては、イノシシの密度指標が減少している傾向は見られなかった。

表 7 統合密度指標の結果（県北部区域）

市町村	ユニット	R05	R06	R07
旭市	AH3	-0.79	-0.73	-0.76
銚子市	CH	-0.79	-0.83	-0.86
印西市	IZ1	0.00	1.40	0.37
印西市	IZ2	3.15	0.99	1.70
印西市	IZ3	-0.07	1.28	0.02
香取市	KT1	-0.14	-0.44	0.01
香取市	KT2	-0.76	-0.42	-0.72
香取市	KT4	-0.72	-0.82	-0.47
成田市	NT1	-0.62	-0.52	-0.68
成田市	NT2	-0.71	-0.73	-0.79
芝山町	SB	-0.71	-0.75	-0.76
多古町	TK	-0.71	-0.75	1.19
東庄町	TS	-0.79	-0.83	-0.86

値低  値高